

2024 年 7 月 1 日

「アマチュア無線の魅力向上アイディア」提案書

1. 提案者
 - ・氏名（グループの場合は代表者）：綱川勇次
 - ・年齢：
 - ・コールサイン（局免許保有者の場合）：JJ1SEG
 - ・連絡先 住 所：
 - メール：
 - ・（グループの場合）代表者以外の構成員の氏名・年齢：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）
 - ☒ (A) 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイディア
 - ~~B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイディア~~
3. アイディア名：アマチュア無線部設立・活動助成制度の創設

4. アイディアの概要（200 字以内）：

全国の中学校、高校に現在アマチュア無線部はどれほど存在するのだろうか。大多数はアマチュア無線部が存在しないだろう。アマチュア無線に関心を持つ中高生が学校にアマチュア無線部を作ってほしいと要望した時、資格取得を支援する仕組みと、最低限必要な設備（無線機・アンテナ・パソコンなど）を整えるのに必要な助成、活動を維持拡大するために必要な支援を行う制度をアマチュア無線界として創設することを提案します。

5. 詳細説明（図表を含めて 4 頁以内）：

昭和の時代は、たいていの高等学校に「アマチュア無線部」が存在した。現在はどうかということと一部の由緒ある無線部を除き、ほとんどの高校から無線部は姿を消しているのではないだろうか。しかし学生の中にはアマチュア無線に興味を持つものがあるかも知れないし、部活動が必修になっている学校も多い中、中高生の選択肢の中に「アマチュア無線部」を広めていくことは、とても意義のあることだと思います。

在学生の中に最低でも 3 人の有資格者がいればすぐにでも社団局が開局できるし、有資格者が 3 人に満たなくても、興味を持つ学生が複数いれば、中高生にとって 4 級の国家試験に合格するのはさほど難しくないでしょう。学校内に一人でもアマチュア無線部の設立を希望する者がいれば、資格取得、開局、設備のスタートアップ、その後の活動までアマチュア無線界として面倒を見るような制度を創設することを提案したい。

①資格取得支援

学校に無料で講師を派遣し、4 級アマチュア無線技士国家試験に合格することを目

標にした講習会を開く。修了者には国家試験受験の際の負担を減らし家庭の理解が得られるように受験料の何割かを補助する。

②クラブ局（社団局）の開局支援

有資格者が必要人数を満たしている学校には、開局に最低限必要な設備（無線機、アンテナ、各種測定器、QSLカード、ノートパソコン等）をスタートアップ支援としてアマチュア無線界で助成する。JARL、JARLの構成メーカー、CQ出版社、地域クラブ局等の協力があれば簡単に実現できる。

③JARL会費の3年間免除

学校の部活動には少なからず費用がかかるが、実績がないとなかなか予算を回してもらえない現実があるだろう。意欲のある学生さえいれば、設立し活動し、実績を残せるようになるまでは金銭的負担がかからないようにしてあげることが必要です。JARLの会費は当面免除で、最低3年は実績作りに力を入れてもらう。実績が認められ、部員も増えて学校から予算措置がされるまでの間は必要に応じた減額・免除の制度を創設する。

④アマチュア無線部の活動支援

CQ誌やJARL NEWSにアマチュア無線部の紹介コーナーを開設し、PRを強化する。また無線部同士の横のつながりをコーディネートする取り組みをしていくことで、全国的にアマチュア無線部の存在がデフォルトになるよう支援して行く。

アマチュア無線部QSOパーティ、全国あるいはエリア規模のアイボールイベントの開催。各種コンテスト・コンクール等の開催、アワードの創設など、アマチュア無線部として活動していく中で、目標にできるものを数多く用意する。それにより、各無線部の特徴を生かし、得意分野を持つことで、活動が活発化していく。

SNS、インターネット、TV、ラジオなど考えられるメディアをフルに活用していく。

参考情報（任意）

- ・ 参考資料：資料名 （PDF ファイルを添付）
- ・ Web 情報：タイトル、URL